

第5回阿波おどり事業検証有識者会議 議事録

開催日時 平成31年1月7日(月) 午前9時～

開催場所 徳島市役所13階 第1研修室

出席者 委員6名 事務局8名

1 開会

2 議題(1) 阿波おどり事業の検証について

【豊永委員長】

今回の会議ではこれまでの状況を踏まえて、提言書の素案が提出されており、こちらを中心に議論してまいりたい。

【事務局】

資料1 前回会議の質問事項等及び資料2 阿波おどり事業検証結果について提言書(素案) 概要・別紙について説明

【豊永委員長】

これまで議論してきたことを、提言書の中に入れていただいたと思う。昨年の末に30年度の決算が出て、色々検討いただいたと思う。出演料の廃止と協力金の負担について、収入を増やすという視点から阿波おどりに参加する方に負担をいただくということで、企業連からは10万円、有名連からは5万円、学生連からは1万円及び障害者等からなる連からは負担無しという議論をした。この点について、変更を加える必要があるかどうかご意見をお伺いしたい。企業連の中で、大企業と地元の中小企業を一律10万の負担とするのが良いかという議論がある。

【岡本委員】

一番批判が多かったのは、例えば、サントリーやサンスターのような、タレントを抱えて媒体効果、企業のイメージアップのために優先的に入りたい連と中小企業の有志による連が同じ負担でいいのかという意見を非常にたくさんいただいたので、区別はつけるべきだと思う。企業連の規模による区別は複雑な設定が必要になることから、優先の張り付けを希望するかどうか。特に日清どん兵衛連等の毎年来るところは、この日にこの演舞場でこれだけの規模で踊りたいという希望があるので、そういったところは希望を通す代わりに必ず10万円、さらに高くてもいいと思う。それ以外のところは一般連と同じように5万円に抑えるが、優先の張り付けの後に抽選で張り付けするというような方法がある。優先張り付けを希望する、しないで区別するのは一つの方法だと思う。規模による区別だと揉めるので、張り付けの有無で区別することが一番スム

ーズ。演舞場で踊りたくない連からは参加費は取らない。希望を出さず、踊れたらどこでもいいという連もあると思うので、そういった工夫も必要だと思う。

【豊永委員長】

線引きをするというのは非常に難しい問題であると思う。一律に10万円というのは再考の余地がある。線引きを具体的にできるかどうかは別として区分けをある程度した方がいいように思う。

【福山委員】

岡本委員の意見のように得られるベネフィットで差をつけるとよいのではないか。プレミアムなサービスを受けられるところには高く負担いただいて、そうでないところには最低限の負担でいくというのが納得のいただきやすい方法だと思う。ただ、複雑にしすぎるとわからなくなるので、極力シンプルなところで線引きをするとよい。

【岡本委員】

同じ金額払うのであれば、同じ待遇が欲しいという意見が必ず出てくると思う。少なくとも参加費について、状況を明示しておけば不平不満は出ないのかなと思う。

【福山委員】

最初は何を変えても絶対言われると思う。

【岡本委員】

例えば、負担金を段階的に上げていく等の調整の余地はあるので最終は実行委員会の方の判断にはなると思う。有識者会議としてはある程度決定の条件として案を出す。

【清水委員】

負担金を求めることに賛成。企業のPRのために、パンフレットに協賛企業名入れる方法もある。

【岡本委員】

例えば、徳島ヴォルティスのサポーターにもゴールド、シルバー、ブロンズとある。極端に言えば20万円を支払ってくれたらパンフレットに名前が載る、記者会見、本部席または演舞場入口のパネルに名前が入る等の方法もある。参加費を上げていく場合には考慮も必要かと思う。

【豊永委員長】

有名連、企業連の区別はあるのか。

【事務局】

優先連という考え方になるが、有料演舞場と無料演舞場で張り付け方法が変わってくる。有料演舞場は最初に有名連を30分ごとに張り付ける。その間の時間に優先連を張り付ける。優先連とは、タレント連、県外で活動されている連、それから有名連と一緒に踊っていただく企業連。無料演舞場は、広く一般で受付するが、それで埋まらない時間が出てくる。その時間を抽選で受け付ける。

【豊永委員長】

そうすると、企業連といっても張り付ける企業連とそうでないところがある。

【事務局】

有料演舞場と無料演舞場で受付方法が変わっている。

【豊永委員長】

有料演舞場について、岡本委員が言われたのは企業連でも張り付けるような企業連は10万円の負担金でよいか。

【岡本委員】

最低でも10万円。それ以外のところは、5万円でもいいと思う。

【豊永委員長】

張り付けるところでメリットがあるから、それに見合う協力金をいただくという考え方。

【清水委員】

無料演舞場では踊り込む連の連名を出したように、有料演舞場も同じようなことをすることができるのでないか。それをすることによってお客さんが選り好みするから困るということを観光協会の時代には外した経緯があると聞いた。

【岡本委員】

今年発表になっていなかったのか。

【事務局】

今年の阿波おどりについては、無料演舞場はホームページで公開した。来年以降は有料演舞場の方も検討したいと思う。

それから、協力金の話については、一番発行部数が多い見物ガイドに企業名を載せることは考えられる。

【豊永委員長】

具体的に連の全ての内容を見ているわけではないので、企業連で優先張り付けを希望するところは10万円、そうでないところは5万円という提案をして実行委員会にするという形でよろしいか。

【岡本委員】

10万円より上もあってもいいと思う。例えば、パンフレットに掲載することを条件に20万円ぐらい。

【豊永委員長】

10万円以上の場合は特にどういうことを想定するのか。

【岡本委員】

優先張り付けを希望する場合は10万円。20万円払っていただいたら、配布物に必ず名前が載る。市長や実行委員会の記者会見時のバックパネル、演舞場の入口パネルに名前を出す。企業連は媒体効果を上げさえすれば考えてもらえる。

【豊永委員長】

演舞場の入口の看板は別で金が発生しているのではないか。

【事務局】

入口のゲートについては、広告料ということで広告看板と一緒に別の料金設定をしている。ただ、ホームページのバナー広告等、いろんな方法で広告の仕方はあると思う。

【岡本委員】

20万円払えば、バナー広告ができる、リンク貼るとか、そういう工夫はある。

【豊永委員長】

協力金については、優先張り付けを希望する企業連は10万円とし、プラスアルファの検討をした方がいい。

【竹中委員】

看板広告との絡みが出てくる。

【岡本委員】

看板広告とは別でお客さんが入る入口のところに、記者会見時のバックパネルぐらいのもので載せることでいいと思う。

【福山委員】

複雑にしない方がいいと言ったものの、連として踊ると広告を出すことのセット割というのでもいいかもしれない。

【豊永委員長】

広告看板が全部埋まってなかったのか。

【事務局】

全体で7割程度。3割程度空いている。

【岡本委員】

広告看板を埋めるのをまず優先する必要がある。

【竹中委員】

有識者会議で細かい話をするより、広告の絡みも含めて具体的には実行委員会の方で決めてもらうのでいいのでは。

【福山委員】

基礎概念を提示して数字についてはあくまでも参考値ということにして、実務される方が詰めていくというのがいいと思う。

【豊永委員長】

書き方としては、協力金の額について参考のために提示しているということで。

【清水委員】

負担金を10万、20万円出すのであれば、一番人気のある藍場浜に張り付けてほしいという要望が殺到してくる恐れがある。例えば、申込時に、4演舞場あるが、どこの演舞場に張り付くかわからないという前提で話を進めていく方がいい。

【豊永委員長】

負担金はいただくけど、張り付けはこちらで行う。

【木村委員】

公平に抽選なりで。

【清水委員】

企業連に協力金をお願いする際に10枚程度自由席枠の入場券を与えてあげること
で、企業としたらお客様にお渡しして喜ばれるのではないかという提案もあった。

【岡本委員】

協力金という名称に違和感がある。協力金では、何もない状態から無理やり出させて
いるようなイメージがある。あくまでもエントリー費のつもりでずっと話をしていた。
これは何か違いがあるのか。

【事務局】

特に深い意味はない。

【岡本委員】

試験受けたり音楽の大会に出たりにしても参加費が必要なことは当たり前である。

【清水委員】

協力金ではなく参加費の方が、皆さんにわかってもらえると思う。

【豊永委員長】

参加するための対価だから、参加費がいい。名称は参加費とする。

出演料を出さない。参加費をいただくことについては従前の議論のままで、岡本委員
が言われた優先張り付けする企業連の件は付加するとして、あとはそのままよろし
いか。それから、選抜と前夜祭料金について、非常に質の高い踊りなのに従前のまま
では安すぎるのではないかという議論があった。これについてはどうか。

【竹中委員】

ここで金額を出すのは反対。単なる値上げ、赤字なので値上げするということにはす
ごい反発があると思う。演出をこう変えたとか、付加価値を付けた上で考えるべきで
ある。前夜祭の販売率が74%ぐらい、選抜が92%。100%ではない状況で、客層を
調べる必要もある。値上げした場合、例えば、県外客は別として、県外の友達を連れて
県内客は、今だと一緒に入るが、値上げしたときどういう行動になるのか分からない。

【岡本委員】

前の議論では、前夜祭でいうと特別指定席のみ上げようという議論ではなかったか。

【竹中委員】

値上げするのはいいが、一緒に何かを加えてないといけないと思う。

【岡本委員】

特別指定席の値上げは、演舞場S席とあまり変わらないイメージがあったので、値上
げしていいという議論だったが、全体的に上げると批判が出ると思う。

【豊永委員長】

事務局の案は、高円寺、ねぶた、どんたくの有料演舞場の席との対比で、今は安すぎるという案だと思う。

【竹中委員】

そういう案はあるが、ただ安いから上げるっていうだけでは納得は得られない。

【岡本委員】

料金の見直しがまず必要。特別指定席は値上げの余地がある。ただ、双方も含めてお客様の満足度を上げる改善とセットで行う方が良い。

【福山委員】

1年で上げきるのか、3年で徐々に上げるか。

【岡本委員】

効果を測定しながらでもいい。値付けはどの商品、商売も大切である。

【豊永委員長】

過去の決算を見ると安定して3,300万円前後で、比較的安定した売り上げがある。ただ、料金をここまで固定して提言してしまうかどうかという話になる。

【竹中委員】

高円寺の阿波おどりは6,000円と書いてあるが、一般の入場料ではなく、協賛者席という位置づけがあるので、必ずしも比較ができるかというところでもないと思う。

【豊永委員長】

ここは、値上げを検討する余地があるぐらいで。

【岡本委員】

特に指定席、特別指定席。

【竹中委員】

付加価値を付けるのと一緒に。

【木村委員】

ここは地域の祭りというより興行的要素が強いので難しい。

【岡本委員】

前夜祭も選抜も阿波おどり本番の中で唯一天候に左右されない事業。興行とみなして切り離すイメージより、一つのイベントとして捉えて考えないといけないのかなと思う。

【竹中委員】

栈敷の席とセットで売る方法もある。

【竹中委員】

価格を高くしてセット割もあるかもしれないし、いろんな事が考えられる。

【岡本委員】

テクニカルな話はチケット販売のオペレーションと相談が必要である。

【豊永委員長】

提言の中で4,000円等の記載のあるところを、値上げの余地があるという表現に。

【岡本委員】

特別指定席だけ上げて、200万円増収。

【清水委員】

従来、特別指定席が2,600円だが、これは税込みなのか。

【事務局】

税込み。

【岡本委員】

やはり、きりのいい数字じゃないと購入しづらい。

【清水委員】

値上げするにしても、お客様は新しいものを求めていると思う。初めて見る人はいいが、毎年同じ踊りをやっているのと、2、3回見ている人からすれば飽きが出る。値上げする以上は、連員も今以上に勉強して、価値観のある演出方法を考えてもらったかどうか。

【岡本委員】

毎年、各協会を考えて、変えているのは事実ですけどね。ただ、各協会に委ねているのでそこは難しいところ。

【豊永委員長】

中間提言では、昨年、振興協会が出ていなかったもので、振興協会含めて演出を検討していく必要があるとしている。新聞記事によると今年は参加の方向であることを含めて。

【岡本委員】

評価の話と関わってくるが、アンケートを採るのがいいと思う。踊る側が自分たちの演出を考える。良いとか悪いではなく、お客様の反応を知りたいと思う。阿波おどり全体のことも含めて、パブリックコメントやアンケートという仕組みが必要。事業の検証とも絡むが、お客様の意見をいただく仕組みが阿波おどりにはないので、継続的なお客様の意見を取り入れていくかという仕組みは大切。

【事務局】

特に前夜祭・選抜では室内で行われるのでアンケートもとりにやすい環境でもある。少なくとも、そこについては努力させていただきたい。演出については、各協会、特に有名連については、時代に合わせて踊りを変えている。前夜祭についても合同の踊りとなるので、協会ごとに少しずつ踊りを変えている。そこに関しては、こちらが意見をすること、難しい。

【豊永委員長】

提言に入れるのであれば、アンケートを実施してより良い演出方法を検討していく必要がある。

【木村委員】

将来的に民間の管理になれば、絶対にやること。

【清水委員】

NHKの昼のおどりで演出したことがあり、見ている人は、次に何かを求めているというのを感じた。演舞場でも、お客様の反応は気になる。

【岡本委員】

そういった意見が反映される仕組みが必要。

【豊永委員長】

前夜祭・選抜については、アンケートを採る等して新しい演出を工夫する。ということ提言書に入れる。

【竹中委員】

加えて、演出などに反映したらPRしてほしい。そういうPRをしている中で値上げをする方向であるべきかと思う。

【豊永委員長】

市役所前演舞場をプレミアム演舞場として値上げするという提言があるが、ここに金額部分を入れるべきか。

【岡本委員】

前夜祭・選抜に入れないのであれば、入れなくていい。ただ、シミュレーションとしては必要である。

【豊永委員長】

料金設定が可能である。という表現で。

【岡本委員】

まだ決定ではないと思うが、総おどりを振興協会にお願いして、4つの演舞場を回っていただくという意見があった。有識者会議での議論は、市役所前だけを魅力向上させるという視点で行われてきた。総おどりはキラコンテンツなので、実行委員会で決定すれば、各演舞場の2部を少し値上げした方がいいと思う。100円でも200円でも値上げしていいと思う。500円くらいでもいいと思う。振興協会として南内町で踊るといふのであれば、南内町の2部をプレミアム化して全体の収支を上げていく方向でもいいかと思う。逆に市役所前をディスカウントしてもいいのでは。

どちらにしても、市役所前は踊りの見せ方を他の演舞場とは変えた方がいいと思う。例えば、連の入る間隔を長めにして自由に使ってもらう。体験型の演舞場にしてもいい。

1部制にするもよし。時間帯によって無料化する。そこは色々な方法を検討する方向でいい。

【豊永委員長】

新聞記事だと、振興協会も協力するとなっている。3ページには、向上策として2部は有名連のみのプレミアム化する、振興協会の総おどりをを行う、色々な案を箇条書きに

している。あと、意見を市民から募る等。

【岡本委員】

市役所前については、広く意見を募る方がいいのでは。やめてしまってもいいということではないので、2回目の会議で入り数とか見たら無くすわけにはいかないということになった。

【豊永委員長】

存続させた上で、より良い魅力向上を図るべき。

【清水委員】

今回は、何かをやってみる。お客様に意見をもらう。今までは、そういう仕組みが無かったために漫然となってしまった。

【豊永委員長】

有料演舞場ではアンケートは採れないのか。

【事務局】

アンケート用紙をどこで配布するかという問題があるので、検討が必要。

【岡本委員】

書いて回収というのは不可能。阿波おどりアプリ等を作らないといけない。

昔は、演舞場の後半で無料開放していたと思うが、今はないのか。

【事務局】

無料開放はしてない。

【岡本委員】

なぜ無くなったのか。2部制になった時になくなったのか。

【事務局】

2部制になったときには、無くなっている。

【岡本委員】

お客様の満足度としては、後半30分を無料にしてもいいと思う。踊り手の意志からすると観客が多い方がやりがいがあり、運営の方法としても簡単だと思う。すべての演舞場で、賑わいが必要だという話も聞く。

【清水委員】

地元の人は特に多かった。市役所前は2部制をやめて1部制に。

【岡本委員】

市役所前はテストマーケティングをしやすい演舞場なので、提言書にそれも加えるのがいい。

【豊永委員長】

これは、提言書のとおりでいいか。

(異議なし)

【豊永委員長】

あまり議論ができていなかったが、民間委託を今年どうするかについて。
個人的にはいいと思うが、そうでない意見もある。

【竹中委員】

将来的に民間委託をするということは賛成だが、今、民間に放り出すというのは反対。

【豊永委員長】

今年からの分も提言するので、両論併記になる。民間委託しない場合に、どういうシステムで行うのか。評価委員会を作って検証するというのは固まっている。
今の実行委員会、運営協議会という仕組みでよいのかという議論が必要。前の議論では、実行委員会の下に色々な委員会で構成するという南越谷方式を採用するという意見が出た。それは実際可能なのか。人をどこが出すかという問題がある。

【福山委員】

人を出すというのは、誰がコストを負担するかという話になる。

【豊永委員長】

民間委託をしない場合に、どのような仕組みで運営するのかということを議論しておかなければならない。

【岡本委員】

将来的な全面民間委託を前提として、それまでの間をどうするのか。

【豊永委員長】

去年を踏まえて今年どうするかという提言が必要。評価委員会を作って検証するというシステムはいいと思うが、運営協議会、実行委員会の今のシステムをどうするか。
今年も市が事務局を負担するのか。
竹中委員は、民間委託については時期尚早だと考えているのか。

【竹中委員】

ある程度、回る仕組みを作ったうえで誰かに任せるということならいいが、今渡すというのは完全に放り出すことになる。まず、回る仕組みを作る必要がある。

【豊永委員長】

市長が実行委員長を務めることが適当ではないというのは一致する意見。市長以外の方に委員長になっていただいて、実行委員会、運営協議会は今のような体制でいいのか。事務局を市がしないというのなら、どこがやるのか。引き受け手があるかどうかという問題はあるが。ノウハウがあるのかという問題もある。

【岡本委員】

1回目、2回目の会議の時に、時期的に難しいということで、今年に関しては経過措置として事業コンペを行う上での仕様書を作る業者に入ってもらい、一緒に運営を行って、ノウハウを共有してコンペを行うという話だったのでは。

【豊永委員長】

最初のころは。市としては、民間委託する体制は整いつつあるのか。

【事務局】

昨年1年通して、阿波おどりを市で運営した。仕様書を作成することは可能だと考える。これまでの議論で、行政が中心で運営するべきではない、赤字を行政が補填するのは好ましくないという意見では一致している。8ページのスキームでは事業者には収支の責任も担ってもらうということも含めて、委託することで、行政が補助金以外に支出がないことで、ご理解いただいているところである。一番難しいのは、この仕組みで仕様書が作成できるのかという議論だが、シミュレーションを含めて受託していただけるかということになる。市として、準備は可能な限りできるのではないかと考えている。

【豊永委員長】

事務局はそのように動いている。ただ、有識者会議としては決を採る必要がある。両論併記でもいいのではないかと思う。8ページは民間委託を前提としたスキームである。

【事務局】

段階的に委託するという案だが、収支リスクを担ってもらうことを考えると全面的な委託でなければ、収支リスクを担ってもらえない。

【岡本委員】

ただ、今年から収支リスクを負うとなるのは厳しい。会社であれば部門別の収支が便宜上であっても存在する。阿波おどりについては、前夜祭・選抜等の事業ごとの収支は出ているのか。段階的に委託を進めるのであれば、前夜祭・選抜については天候に関するリスクは台風が来ない限り無いので、受託企業も事業計画を立てやすく、利益が読める。去年のような風評被害のようなものは別として、予測される利益に対して、これだけは納めてもらうというような計画を立てやすい。受託企業には、そこでまず判断してもらって全面に拡大するというような方法はとれないか。将来的に全面委託するという前提条件の下で、まずは収益性の高い前夜祭・選抜の運営を受けてもらう。

【事務局】

前夜祭・選抜の収支については、前回の資料に含まれている。

【豊永委員長】

民間委託しない場合の提言はどうか。

【竹中委員】

本来であればガバナンスを利かせたうえで、観光協会のような団体に実行委員会を持ってもらうのが一番いいと思う。

【豊永委員長】

市が事務局をするのではなく、民間の団体に事務局を置くということ。

【竹中委員】

観光協会を失くしたときに、市として阿波おどりについてどう考えていたのか。

【事務局】

観光協会を潰したというのではなく、支払いを拒否されたり、遅延損害金も発生するということになるということで、やむを得ず破産申し立てを行った。市がそこまで考えていたかということは、ここで発言するのは難しい。ただ、阿波おどりをしっかりつないでいかなければならないという思いは一致している。4月に皆様方からのご協力をいただき、新たな実行委員会を立ち上げ、なんとか今年の阿波おどりを全力でやりきったということになる。

ただ、今年の課題が出てきたこともあり、皆様に集まっていただき、今後の阿波おどりをどうやっていくのかということを検証いただき、次につなげていくということで本日に至っているということをご理解いただきたい。

【豊永委員長】

観光協会については第三者委員会が結論付けているように、民間でありながら、事業収益が2億数千円ありながら、過去5年で見ても、売り上げがありながら借入が発生していた。民間でありながら民間でなかった。赤字は垂れ流しの状態であった。そのままではいけないということで、こういう形になった。信頼関係がなくなって。現在に至っている。阿波おどり自体が中止になってしまうという印象を与えてしまったという要素もある。

【竹中委員】

全くガバナンスが利いてなかったということ。

【岡本委員】

将来的な全面委託。前段階として、とりあえずこのままいき委託先を探す。もう一つは、分割で委託し将来的な全面委託を前提とする。出る利益の一部を必ず基金に積む。

【豊永委員長】

全面委託する場合でも、赤字は持つてもらうけど、出た利益の一定割合は阿波おどり振興基金に入れてもらう。将来的な積立等の補修等に充てるというイメージでいいと思う。

【岡本委員】

収支リスクを今年から負うというのであれば、手が出せないところが多いと思う。

【福山委員】

観光協会と性格が似ていて、今ある団体があるかどうかということで、お願いをしていかないといけない。あまり選択肢はないが。

【岡本委員】

考えられるのは、商工会議所と DMO の2つしかない。

【豊永委員長】

案としては、そういったところに事務局を置いてもらう。あとは、市から何人か出向してもらう必要があるのか。

【岡本委員】

そうである。現状、DMOは徳島市から出向していると思う。ノウハウの共有は市役所内部ではできる。

【事務局】

市からは一人、事務局長という立場で出向している。阿波おどりととは関係なく、イーストの交遊観光として出向している。阿波おどりをするとすれば、そのマンパワーは無いので、人でいくのか経費負担するのかという話になる。従来、阿波おどりは観光協会で、業務発注等を行っていた。去年については、これまでの共催者でもある徳島新聞社の力を借りながら運営したところ。ノウハウという面では、他に持たれているところは無い。それをどうつなげていくかが課題となる。

【豊永委員長】

実行委員会から委託した時に、お金をどうするか。

委託する場合には、DMOや商工会議所に事務局を置くことになる。

【福山委員】

事務局費をどこが負担するかというのが問題になる。決算書には載っていない。

【清水委員】

去年1年、市が事務局を担ったが、すぐに民間委託となってもノウハウがないと思う。運営に携わった市の職員が出向し、運営に携わるという形がよいのでは。

【豊永委員長】

事務局を委託する場合に、お金をどうするかという問題がある。実行委員会の費用から出すことになる。今は無い。委託するとなっても、タダというわけにはいかない。今は、振興基金しかない。去年の赤字は振興基金で補填するということは決まったのか。振興基金を使うということは議会の議決が必要になるのか。

【事務局】

その方向で議論があった。どちらにしても、予算を伴うことになるので、議会の議決が必要。

【豊永委員長】

委託するという抽象的な議論はいいが、お金がマイナスの状態。一銭も出ない状態で委託するっていうのは問題。

【岡本委員】

予算を組んでもらうしかない。阿波おどり事業の補助とは別に、移行準備のための予算は組んでいただかないと方法がないかと思う。

【事務局】

今回、資料1のところで色々収支シミュレーションを皆様方にやっていただけるようなものを載せてある。いわゆる本部経費として必要な人件費等は今まで阿波おどり事業のほうに、計上されていなかった。民間委託の場合にも、当然、経費も折り込む必要がある。なお、地域の祭という観点からすると、それを折り込んででも収支をとって

くスキームが阿波おどりに必要。

【岡本委員】

どちらにしても出だしの予算若しくは貸付が必要。

【竹中委員】

コンサルを含めながら1年間きっちりと協議する。我々には運営のノウハウもないので、1年間コンサルでもいれて、体制をつくってから完全に民間委託という方がいいのではないかと思う。

【豊永委員長】

まずは阿波おどりを従前どおり行うということで発信が重要。最終的に赤字のリスクをとって利益が出るとしたら、それはもうガバナンスを利かせて民間委託しかないと思う。今年するかどうかについては、例えば、市長が実行委員長やめて、別の民間の方がなるという方向で協議する方法。それまでは、徳島市が事務局を担当しないと仕方がない。

【福山委員】

交代なさるという意向があった。

【岡本委員】

まだ意向の段階。

【豊永委員長】

有識者会議としては、そういう方向でいいと思う。どなたか民間の方が委員長に就任した場合には去年どおりでいいのかということをご提言しないといけないと思う。去年どおりとすると市に事務局を置き、同じようにリスクの負担をする。今年は去年と違って時間的な余裕があると思う。

【竹中委員】

時間はあまりない。

【豊永委員長】

観光協会の破産確定が5月末だったので去年と比較すると時間はある。

【岡本委員】

去年の体制のまま将来の民間委託に向けて準備をするパターン1。パターン2は、市が仕様書を現状でまとめて民間委託で受けてくれるところを募る。そして、手をあげてくれるところがあれば、速やかに移行する。パターン3は、段階的な委託として、外に出せるところから分割で様子を見る。

【豊永委員長】

具体的に市が事務局をするのかということはどうか。

【岡本委員】

パターン1でいうと、とりあえず現状のまま。

【竹中委員】

引き受けてくれるかどうかは別として、事務局だけ外へ出すという方法もある

【岡本委員】

DMOか、商工会議所が引き受けてくれればということになるが。

【福山委員】

初年は、事務局費用は出す方向でよいのか。

【清水委員】

今年は、市の方でお願いをしておいて、基本ができてから順次渡していくっていう形が一番良いのではないかと思う。

【岡本委員】

少なくとも今年の収支のリスクは徳島市の方で負う準備しておかないと、どのパターンでやっても、手をあげてくれるところはないと思う。

【豊永委員長】

ただ、受けてくれたら問題はない。今、市が仕様書を作成しているが完成はいつになるのか。

【事務局】

徳島市の方法でいくと、指定管理者制度。この募集から決定までの期間が大体2ヶ月弱ぐらいになる。4月1日までに決めようとする、2月の1週目までぐらいには募集の開始を始める必要がある。

【岡本委員】

そこから逆算して、それまでに仕様書を作らないといけない。

【竹中委員】

それをするためには、例えば実行委員会で先程の演出をどうするか、料金をどうするかなど全部決めてしまわないといけない。

【豊永委員長】

コンテンツをどこまでどの程度やるか別として、従前どおりで受けってくれるところがあれば、それはそれでいいと思う。

【福山委員】

阿波おどりに関する資産として徳島市が保有しているのは、栈敷のみ。栈敷と細々したもの。

【豊永委員長】

実行委員会が保有しているものはあるのか。

【事務局】

徳島市保有で、一番大きいのは栈敷。コーンであったり、残りの細々したものについては実行委員会で保有。

【福山委員】

外部に出す時は、栈敷は無償譲渡になるのか。

【竹中委員】

無償貸与か。

【豊永委員長】

購入しているので、無償というわけにはいかないのでは。

【岡本委員】

無償で貸与して利益が出ればいれてくれるので問題ない。永遠に無償ではなく、出だしは少なくとも無償でないといけないかと。

【事務局】

指定管理者制度の中でも、それぞれ基準がある。一定金額以下については指定管理者の支出で修繕を行う。一定金額以上、例えば30万とか50万以上の大規模な修繕については、市が負担する。責任を明確にしながらやっていくことになる。例えば、栈敷が壊れた時に、大きな修繕については実行委員会が行うことになると、基金に一定額の収益を積むことができたなら、将来の栈敷の改修等にも備えることができる。

【豊永委員長】

民間委託の導入に関して、方法としてはコンペ方式で3年から5年計画的・安定的にやることに異論はないと思う。決定過程の透明化を図ること、説明責任を果たしていくことを含めて。これまでの直営体制で実施する場合は、越谷のような阿波おどり各種運営委員会の設置を想定しておく必要がある。

【岡本委員】

どれが優先というのではない。現実的に収支も含めて考える必要がある。

【豊永委員長】

もし手をあげてくれる人がいなければ、どうするのか実行委員会に提言しないといけない。

【岡本委員】

手をあげてくれる人がいないのであれば、段階的な委託しか方法はないと思う。全面委託の準備を進めながら同時進行で進めながらするしかない。一緒にノウハウを積んでくれるところに入ってもらってやらないとたぶん無理だと思う。

【竹中委員】

実際に来ているお客様はたぶん減っている。これをどうするかという根本的なところを議論した上で任すべきだと思う。

【岡本委員】

ただ、現状の体制で集客の企画なり、手を広げていくのは、難しいと思う。だからこそその民間委託だと思う。

【竹中委員】

お金かけてでもコンサルを入れて、いろんな方法を検討した上で委託する方が現実的によりよいものになっていくのではないかと思う。

【豊永委員長】

客観性透明性するために評価委員会を設けるっていうのは一致。民間委託が一つの大きな柱になると思う。仮にそれができない場合、仕様書は作ったけど、応募がないという場合だって想定される。赤字が出たら実行委員会が持つという分担でいけばいいんだろうけど、やめるっていうところも出てくる。

【岡本委員】

去年は緊急非難的に立ち上げた組織。実行委員会の方々って徳島市がお願いをして、委員になっていただいているメンバーばかりである。

【清水委員】

1年間でノウハウは、ほとんどマスターされたのか。

【事務局】

今年夏に阿波おどりを開催させていただいて、特に滞りなくできた和我々は思っている。確かに現状でノウハウを持っているのは昔の観光協会であったり、我々であったり、徳島新聞社かもしれないが、我々も限られた時間の中で、何とかやり遂げることができた。それを考えると、引き継ぎはおそらくできると思う。

【清水委員】

スムーズに引き継ぎするためには、少なくとも1年とか2年とか期間がいる。

【事務局】

実際はマンツーマンで、両方協力しながらやった方が、スムーズにできるのは間違いない。

【岡本委員】

いずれにしても仕様書と黒字化のシミュレーションが鍵。

【豊永委員長】

民間委託するとすれば、8ページのこのスキームで、実行委員会は主にチェックするということになる。

【清水委員】

例えば市長の問題が色々出ているので、市長に代わって新たに実行委員長を代わって、民間移行に対してのスタートの一步にしたいなどは思ったりはする。

【豊永委員長】

要するに、市長が委員長ではなく、民間の方がなっただくというのは提言するとして、行政が表に出ないという形でね。あと、事務局もできれば民間に委託した方が、いいのではないかとこのところも異論はない。提言書に入れたらいいと思う。

【竹中委員】

DMOか商工会議所。

【豊永委員長】

受けてくれるのか。

【岡本委員】

難しいかもしれない。

【竹中委員】

人員は市から出さざるを得ない。

【豊永委員長】

事務局を民間に委託するとしたら、委託費を出さないといけない。

【事務局】

本来、阿波おどりは地域の伝統芸能。やっぱりそれはその地域で支えていく。参加費をいただくとか、有名連からの出演料を廃止するとかいう話も、おそらく地域みんなで支えていこうという話からだと思っている。当然その阿波おどり事業の公益性な面でシャトルバスであったり、にわか連の運営であったりというのは、市が行政として負担するところだと。阿波おどり事業全体で考えると、それはその阿波おどり事業で完結していくというのが地域の伝統芸能だと思っている。

【岡本委員】

この会と同時進行で仕様書をまず早くまとめる作業を進めていただいた方がいい。

【事務局】

準備はしている。

【岡本委員】

指定管理の募集要項を出せる状態にした方がいい。

【事務局】

まずこの有識者会議から提言書をいただき、それを実行委員会の中でどうしていくか、議論を踏まえてからという話にはなる。準備の方は進めさせていただいている。

【岡本委員】

これもさっきの阿波おどりの演出方法と同じように、やはり広く市民やお客様も含めた中で必ず声を反映するような仕組みが必要だと思う。阿波おどりの事業の批判は、誰がどう決めて何をやっているかわからないというのが、一般市民の方から多かったと思う。それと、収入のところ、にわか連の体験型観光の収入が考慮されてなかったと思う。例えばにわか連の参加を五千円として、浴衣や法被の制作費としてはたぶん二千元ぐらいでできると思う。それにうちわと手拭いを入れても、三千元いかないぐらいと思うので、仮に五千円参加料もらったとしても、要は二千元の収益として上がるので、にわか連の参加人数×二千元は、それが収入として計上できるかなと思う。

それと、阿波おどりの名称。特許庁のHPから見られるが、今、漢字で徳島阿波おどりは商標登録されている。徳島市阿波おどりは該当がなかった。いずれにしても商標登録はした方がいいと思う。10年間有効の商標登録は、費用的に20万円もあればできる。例えばよさこいソーランなんか、グッズ関連収入が確か二割ぐらいあったと思う。将来的に民間委託する場合には、それを使わせてあげる方向で考えると、権利関係

はおさえていた方がいいと思う。

【福山委員】

とくしま阿波おどりでみなさん違和感はないのか。

【竹中委員】

私はすごく違和感がある。反対。商標は絶対取っておくべきだと思うが、名称にとくしまを入れるというのはすごく違和感がある。

【岡本委員】

高円寺阿波おどり、南越谷阿波おどり、大和阿波おどりというのはわかるけど、阿波おどりは阿波おどりだと。その気持ちはすごいわかる。阿波おどりで商標を認められるかはちょっとわからないが。

【福山委員】

言葉がかぶっているという意味合い。徳島と阿波は結びつかないかもしれないが。

【岡本委員】

JTBの2年か3年前のアンケートで、日本人であれば一度は行きたい祭、No3 阿波おどりで、No1 高円寺阿波おどりだった。それぐらい一般の人にとっては、阿波おどりがイコール徳島になってない。発信のツールとしては、持っていた方がいいというのは間違いない。

【竹中委員】

持っておくのはいいと思う。

【岡本委員】

ツールとして使い分ければいい。

【豊永委員長】

細かいことでまたお金の話になるが、シャトルバスもそのままでもいいのか。

【岡本委員】

料金は必然的に上げざるを得ない。

【竹中委員】

普通、路線バスに乗ったら210円。

【豊永委員長】

100円は安い。

【竹中委員】

例えば、臨時駐車場を県立の城東高校にお願いするわけにはいかないか。そうすれば、歩いていけるのでシャトルバスはいらない。もっと近くの施設を使えば、バス運営も減らせるのでは。

【事務局】

河川敷は公園部分もあるので、市の公園と国の部分もあり、使用許可を得ている。協議して借りられる可能性もあるかもしれない。

【竹中委員】

もっと近くの城東高校や付属小学校とかを借りて、たとえば沖洲のマリンピアかどちらかを減らせば全然コストが違ってくると思う。見直しというか、近くでバスを使わずに置けるところも可能性としては検討の余地は十分ある。

【岡本委員】

この素案の最初のところ、費用が増えたから赤字の要因になったとあるが、ここがまいちわからない。

【事務局】

臨時駐車場は学校や公園にこれまで7カ所開設していた。これまではPTAであったり体育協会であったり地元の方が運営していた。今年から、5カ所を実行委員会で運営をした。線引や駐車場の案内を警備業務で委託しており、これが概ね800万円くらいかかっている。一方で1200円ほど駐車料金を頂いており、この収入が400万円くらいで、その差額が赤字になる。

【岡本委員】

本来であれば、市の財産を貸し出すので駐車場を管理してくれるところに依頼すれば収入になるはずでは。今回は収益が思ったほど上がらなかったということだが、普通、場所を貸し出したら儲かるのではないかと思う。

【事務局】

駐車料金の設定と台数、回転数だと思う。業務委託をする駐車場を管理してもらう経費と得る収入が今回は釣り合わなかった。

【岡本委員】

今年からは早めに公募すればやってくれるところは出てくるはず。

【事務局】

指定管理と同様の話で、ペイできるかどうかを事業者が考えると思うが、おそらくこのままではペイできないと思う。ペイさせようとするので駐車料金を上げるか、公益性のある事業として委託料をだしてお願いするかどちらかになる。

【豊永委員長】

今までは地域の人がやっていたから警備費がかかっていなかったと推測される。

【事務局】

ボランティアでやっていたのが多かったと聞いている。

【福山委員】

じゃあ城東高校をやっても同じこと。

【竹中委員】

シャトルバスとの事業収支の差し引き。この辺の検討の余地がある。

【豊永委員長】

吉野川の河川敷というのは、駐車料金はいるのか。

【事務局】

こちら無料になっている。バスは貰うが、乗用車については無料。

【豊永委員長】

バス代で貰えばいい。100円じゃなくてもうちちょっと貰ったら。

【岡本委員】

どちらにしてもバス料金も警備費用も確実にどんどん上がっていく。サービス業やっているからわかるが、人件費は上がっていかざるを得ないのでそこはどんどん見直していかないといけない。

【岡本委員】

資料を見ると徳島中学校以外はほぼ埋まっている。

【事務局】

場所的に徳島中学校はこの中では一番遠いところなのでかなり空きがある。最後の方14日15日あたりは少ないようです。

【豊永委員長】

15日の落ち込みが大きいのは、雨によるところ。

【岡本委員】

ここで費用がかかるのであれば見直しの対象

【福山委員】

足を引っ張るのであれば。

【豊永委員長】

この警備というのは警備員の人がしたのか。

【事務局】

警備業務ということでお願いしている。料金徴収の方も合わせてお願いしている。

【竹中委員】

1人当たりにしたら結構高い。

【事務局】

開設が13時間くらい開けるようになるので結構いい値段になる。

【岡本委員】

警備費用はどんどん上がっていく。

【竹中委員】

こちらで判断することはないと思うが、1時間500円で貸すとか、いろいろやり方はある。

【豊永委員長】

評価機関を設けてチェックをするというのは、実務をどうやるかが悩ましい。人とお金がかかるところを提言しても空理空論では。

【清水委員】

どうして金を取られるのか、参加費を出さないといけないのかということを通り言われた。すべての面で経費を節約しなければならない時期になっているので、その他請け負いについても全部見直しをしていただいて、実行委員会の方で新たにやっただけではないので、ご理解いただきたいということで答弁している。

【豊永委員長】

去年の決算書を見ると減らせるところは減らしていっているように見える。去年は新たに事業を引き受けたところがあるので必然的に備品等を購入せざるを得ないことで増えている。とは言ってもチケットの売り上げが落ち込んだのが一番大きい。

【福山委員】

一番大事なのはチケットをまず例年水準に戻さないといけない。

【豊永委員長】

だから例年どおり開催する。まずは振興協会にご協力いただく。

【岡本委員】

後をどう伸ばしていけるか。

【福山委員】

既存事業と新規事業で、基本を守りながら。

【清水委員】

阿波おどりをする人が原点に戻って地域を盛り上げるためにどうするか、これから続けるためにどうするかというのを一人一人が考えていく時期。今年からスタートということでみなさんが認識していただいたら一番いいんじゃないかなと思う。

【豊永委員長】

全国の祭りを見て、徳島の阿波おどりは全国の祭りの中では特殊な収入構造になったところがあぶり出された。実行委員会のあり方を従前どおりの実行委員会、運営協議会とするのかどうか、仮に民間委託するにしても検討する余地がある。

【岡本委員】

運営協議会と評価委員会は同じようなイメージなのか。運営協議会が評価も兼ねるのでいいと思う。

【豊永委員長】

現場の人にも入っていただく必要があると思うが、参加者とは別の全く利害関係が無い第三者的に評価したほうがいいんじゃないかなと思う。有識者会議と同じような形態でいいと思う。

【福山委員】

黒字化のシミュレーションを評価委員会で示して、実際やってみて結果こうだったと、この次はこう改善すると、そこがきちんと回っていけばいい。

【豊永委員長】

いろんな団体がおられるので利害を離れたところで評価する方がいいと思う。

【福山委員】

民間委託を誰に頼むかで引っかかっている。とりあえず、債権債務の帰属主体を法人格を持ったところにしていかないといけない。今も3700万円未払いだから、工事した人にはとんでもない話。

【清水委員】

東京高円寺のようにNPOにした方がよいのでは。みんなが立ち上げて、みんなが役割分担することになってくる。

【豊永委員長】

ゼロから出発した場合は、お金がないから参加費いただいてボランティアで、よさこいソーラン祭りは学生がやっているの、お金を出しやすいし、いただきやすい。

【岡本委員】

ただ、これだけのチケット収入がある程度確保されている状況なので、ゼロからというわけでない。それと、イベント保険は入っているのか。

【事務局】

入ってない。実行委員会事務局の方で4月5月6月ぐらいに検討した。雨のリスクもある、かなり高額。

【岡本委員】

直接じゃないが、東京海上日動さんからある方を通じて話があった。1日当たり100万から90万くらいでチケット収入の売り上げをカバーできるという保険を作ってくれたそうで、4日間で400万、警報発令時は対象外。台風とかの時は保険の対象外だが、ただ去年の15日のような状況であれば、カバーするというのを最近聞いた。

【事務局】

当日のリスクは毎年のようにある。いろいろところで聞いたり営業に来た方に聞いたり、金額はまちまちであった。

【豊永委員長】

民間委託した場合のリスクは少なくなるから、それはそれでいいと思う。あとは、民間委託と実行委員会、運営協議会、事務局のあり方。

【竹中委員】

どういう条件なら引き受けてくれるか。

【福山委員】

まずは聞いてもらわないと、こっちが勝手にお願いすると言っても仕方がない。

【豊永委員長】

お願いするにしても、民間委託したときの事務局と主体となる場合の事務局の負担は全然違う。あと、事務局として民間委託するとしたらスケジュール感はどのように考えているのか。

【事務局】

募集から決定までは2か月弱くらいかかると思っている。今年は4月には動き始めたい。

【豊永委員長】

2月のはじめに募集して2か月間で出来るのか。

【事務局】

この会議で提言をいただき、実行委員会を速やかに開催して、提言書の中身をどれだけ取り入れるのか議論をする。おそらく1月の下旬ぐらいになろうかと思うので、平行して我々の方は作業を進めていく。

【福山委員】

第6回で確実に終わりにする。

【豊永委員長】

いずれにしろ両論併記になるか各論併記になろうが提言して、そうでないと実行委員会の人も困るから年内にとのことだったが、決算が中々出てこなかった。では日程調整はいただいている22日か23日か。

【事務局】

23日の4時から。今日の結果を踏まえて、事務局の方で若干修正できる部分は修正させていただき、今週末か来週早々には皆様にメールで、また皆様方でもお気づきになられたところ、細かい「てにをは」でも結構なので順次、事務局に返していただけたら反映させてまいりたい。

【豊永委員長】

5ページから6ページ、この辺の書き方について、必要性や導入方法の考え方は基本的にはいいが課題のところは、時間があるのでお考えいただいて、最終的に次回で決めて提言しないといけない。

【清水委員】

実行委員会で決めたことはみんなが守る。例えば去年の振興協会のことも含めて、機軸を踊る連も悪いと思う。5分か6分で出ていくように決められているにもかかわらず、自分たちはこういう演出をするからということで10分だろうが15分だろうがやる連がある。踊り子自身ももっと反省しないといけない。今年からは、とにかく従わないところにはペナルティを与えるというくらいの基本的なものを作っていただいてやってほしい。ルールだけは絶対守ってほしい。

【豊永委員長】

現場のマネジメントは今年誰がしたのか。

【事務局】

現場は徳島新聞社、そして我々などいろんな人が入っていて、基本的に有料演舞場は徳島新聞社、無料演舞場は徳島市と役割分担し、遅れちるとき逆に早すぎるときは現場の中で先頭の方を中心に、もう少し早くとか、ゆっくりなど、お願いしている。

【清水委員】

あくまでも演舞場というのは流しおどり。演舞場も舞台も同じようなやり方をやるから連員相互の意思疎通ができていない。いわゆる不満が出ていることが事実。

【岡本委員】

実行委員会からやりなさいと言っても反発すると思うので、実行委員会の下に栈敷の運営の委員会を作って各協会から入ってもらって踊り手で決めていただいたほうが一番いい。自分たちで決めたことを自分たちが守るとするのがいい。

【福山委員】

倍踊らしてあげて、倍貰ったらいいのではないか。

【豊永委員長】

時間を取る方にはそういう考え方もあり。

【岡本委員】

運営の方法になる。市役所前の魅力アップの提言の中に時間を長めにとって流しおどりとは違う演出もいいという様な表現でもいい。そのかわり他の演舞場ではダメというふうにするのもあり。そうしたら市役所前に行きたい連も増えてくるかもしれないし、そういう踊りを見たい、舞台おどりを栈敷でも見られるのであれば行ってみようかという方もいるかもしれない。

【竹中委員】

参加費を取ることによって阿波おどりの連が運営できなくなるということはないのか。せっかくいい意見が出たが、お金を貰えなかったらうちの連は維持できない、という様な事はないのか。連が減っていったら本末転倒になってしまう。

【豊永委員長】

徳島新聞の連載の中ではそういう声は出ていた。

【清水委員】

おどる連が無いということはない。

【岡本委員】

50名の連で1人千円ですよね。1人千円が出せない連はあるのか。

【竹中委員】

余計な心配だが。

【清水委員】

一番いけなかったのは、踊りをすればただで踊れる、あるいは踊ることによって優先連貰って金まで貰える、こんなおいしいことはない。今年がスタートと思って連員が意識改革することが一番だろうと思う。今までは踊ってあげるという踊り子さんたちって意識があると思う。改めて原点に戻るべき。1人千円は安い。

【豊永委員長】

よさこいソーランは人数を超えたらまたお金がいるということだった。

【清水委員】

1・50名って言っていた。

【岡本委員】

舞台の演出や時間の関係。

【清水委員】

それだけルールを守っている。徳島の踊りって自分自身踊っていて、ある面では無法地帯。

【豊永委員長】

最終的な23日午後4時からということで、皆さんにお考えいただき、最終提言書に盛り込めるようにしたいと思う。以上を持って第5回阿波おどり事業検証委員会を終了とする。